

2010 年度 日本社会教育学会

六月集会プログラム

日 時 6月5日(土) 13:00~18:15 (受付12:30~)
6月6日(日) 9:30~16:00 (受付 9:00~)

会 場 法政大学 市ヶ谷キャンパス
(〒102-8160 千代田区富士見 2-17-1)

参加費 1,500円 (非会員の学生は身分証提示で1,000円)
※尚、学会員の学生は500円 (但し、身分証提示の場合のみ)

各地の研究集会

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| 東北・北海道研究集会
(岩手大学教育学部) | 6月12日(土)・13日(日) |
| 東海・北陸地区社会教育研究集会
(名古屋大学教育学部) | 6月19日(土) |
| 関西研究集会
(大阪市立総合生涯学習センター) | 6月19日(土) |
| 中国・四国地区社会教育研究集会
(香川大学教育学部) | 6月26日(土)・27日(日) |
| 九州・沖縄地区六月集会
(福岡県立大学) | 7月3日(土)・4日(日) |

日本社会教育学会 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1
早稲田大学教育学部内
TEL 090-3875-5096

日本社会教育学会六月集会

会 場 法政大学

〔第1日〕6月5日(土) プロジェクト研究・特別報告

●プロジェクト研究「労働の場のエンパワメント」 13:00~16:00

テーマ 「労働の場における今日的課題—労働者の力量形成を考える—」

司 会 末本 誠 (神戸大学)

報告 I 「労使関係から見た労働者の力量形成の課題」 濱口桂一郎 (独立行政法人労働政策研究・研修機構)

II 「労働にかかわる教育・学習の問題構成—プロジェクト研究の取り組みを中心に—」 平川 景子 (明治大学)

III 「“労働”、“職業”、“キャリア” 概念をめぐる諸問題

—法政大学および“現代GP”の経験をふまえて— 笹川 孝一 (法政大学)

●プロジェクト研究「学校・家庭・地域の連携と社会教育」 13:00~16:00

テーマ 「子ども・地域からみた「学校・家庭・地域の連携」」

司 会 笹井 宏益 (国立教育政策研究所)、中村 香 (玉川大学)

報告 I 「子育て・子育て支援論から学校・家庭・地域の連携について検討する」

深作 拓郎 (弘前大学)

II 「学びを楽しみ、学びを支え、地域をつくる」

渡邊真知子 (北光クラブ〔鹿沼市〕代表)

III 「地域教育を推進する東京都教育庁の取組」

梶野 光信 (東京都教育庁)

●特別報告 16:15~18:15

「ユネスコ第6回国際成人教育会議 (CONFINTEA VI) の成果と今後の課題」

司 会 藤村 好美 (群馬大学)

報 告 「大会概要」 村上 博光 (甲南女子大学)・野元 弘幸 (首都大学東京)

「政府代表の立場から」

笹井 宏益 (国立教育政策研究所)

「市民社会団体「草の根会議」の立場から」

荒井 容子 (法政大学)

〔第2日〕6月6日(日) プロジェクト研究・会場校主催

●プロジェクト研究「社会教育における評価」 9:30~12:30

テーマ 「評価の展開とその組織化」

司 会 村田 晶子 (早稲田大学)、越村 康英 (千葉大学・非)

報告 I 「職員の力量形成につながる評価の取り組み」

藤野真一郎 (恵庭市教育委員会)

中島 宏一 (北海道開拓の村)

II 「社会教育における評価と大学の役割」

木村 純 (北海道大学)

●会場校企画 9:30~12:30

「生物多様性と生涯学習の課題」

報告者 1) 「生物多様性と生涯学習の課題」

朝岡 幸彦 (東京農工大学)

2) 「生物多様性と地域での実践—宮城県蕪栗沼の事例—」

島野 智之 (宮城教育大学)

3) 「国連大学の取り組みから」

名執 芳博 (国連大学)

コーディネーター 笹川 孝一 (法政大学)

●ラウンドテーブル 13:30~16:00

①「アイヌ民族をめぐる教育の課題その3」

アドバイザー 清水 裕二 (少数民族懇談会、北海道アイヌ協会江別支部)

コーディネーター 野元 弘幸 (首都大学東京)

報 告 「胆振地方におけるアイヌ児童の学習支援」 佐久間孝正 (東京女子大学名誉教授)

「イオル再生の現状と課題」 若園雄志郎 (大東文化大学・非)

②「若者支援におけるアウトリーチとスタッフの役割—“利用したくなる/しやすくする”ための仕掛け—」

コーディネーター 萩原建次郎 (駒澤大学) 新谷 周平 (千葉大学) 阿比留久美 (横浜国立大学・非)

報告者 武田 明恵 (みつくす~ストリートアウトリーチサービス東京~)

稲垣 朝子 (プロジェクト コネクト)

③「社会教育研究から「平和博物館」を議論するために」

コーディネーター 阿知良洋平 (北海道大学大学院) 栗山 究 (早稲田大学大学院)

藤田 秀雄 (立正大学名誉教授)

報告者 阿知良洋平 (北海道大学大学院) 石橋 星志 (明治大学大学院)

深谷 直弘 (法政大学大学院)

会 場：法政大学 市ヶ谷キャンパス

東京都千代田区富士見 2-17-1

連 絡 先：法政大学 キャリアデザイン学部 笹川 孝一

TEL 090-4842-0869

Email sskoichi@hotmail.com

交通案内：【JR線】

総武線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10分

【地下鉄線】

●都営新宿線：市ヶ谷駅下車徒歩 6分

●東京メトロ有楽町線・南北線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10分

●東京メトロ東西・線都営大江戸線：飯田橋駅下車徒歩 10分



第34回東北・北海道研究集会

会 場 岩手大学教育学部

日 時 6月12日(土) 13:00~17:00

6月13日(日) 9:00~16:00

テ ー マ 「市民参画・協働と社会教育—その3—」

会 場 岩手大学教育学部

会場住所 〒020-8550 盛岡市上田 3-18-34

連絡先 岩手大学教育学部 新妻 二男

TEL 019-621-6624

交通案内: JR 盛岡駅から

- バス利用の場合、盛岡駅前バスターミナル11番乗り場
・岩手県交通バス上田線「松園バスターミナル行き」に乗り、「岩手大学前」下車
・岩手県交通バス桜台団地線「桜台団地行き」に乗り、「岩手大学」下車
- タクシー利用の場合、約2キロ(約10分)
- 徒歩の場合、約25分

東海・北陸地区社会教育研究集会

会 場 名古屋大学教育学部

日 時 6月19日(土) 10:00~17:00

テ ー マ 「地域自治・住民自治と社会教育実践」

午前の部: 基調報告と討論

報告者 松田 武雄 (名古屋大学) 司会 高橋 正教 (中京女子大学)

午後の部: シンポジウム

報告 安城市、豊橋市、豊田市 (予定) 司会 大村 恵 (愛知教育大学)

会 場 名古屋大学教育学部 第三講義室

会場住所 〒464-8601 名古屋市中千種区不老町

連絡先 名古屋大学大学院教育発達科学研究科

松田 武雄 TEL 052-789-2629

交通案内: JR 名古屋駅から地下鉄東山線藤が丘行きに乗り、『本山』で地下鉄名城線右回りに乗り換え、『名古屋大学』下車徒歩3分(名古屋駅から 所要時間 約30分)

JR 金山駅・名鉄金山駅からの場合、地下鉄名城線左回りに乗り『名古屋大学』下車(所要時間約25分)

第34回 関西研究集会

会 場 大阪市立総合生涯学習センター 第一研修室

日 時 6月19日(土) 10:00~16:30

テ ー マ 「社会教育における公共性を考える(6)『現代の貧困』と社会教育の課題」

午前の部: 10:30~12:00

開会挨拶 末本 誠 (神戸大学)

司 会 朴木佳緒留 (神戸大学)

基調報告 『『現代の貧困』と社会教育の課題』

望月 彰 (大阪府立大学)

午後の部: 13:00~16:30

司 会 堀 薫夫 (大阪教育大学)、

西川 一弘 (和歌山大学 紀南サテライト)

テ ー マ 「社会教育の現場で『貧困』にどう取り組むか」

報告1: 「貧困をどう伝えるか〜『野宿者問題の授業』を通して」 生田 武志 (野宿者ネットワーク代表)

報告2: 「『自己責任』から『反貧困学習』へ〜非正規雇用問題を中心に」 吉田 正純 (京都大学)

報告3: 「貧困と自治体財政の危機がすすむ守口の街・守口市の社会教育の現場から」 志鎌 克己 (守口市中央公民館)

報告4: 「子どもの貧困と地域における自立支援の課題」 石田賀奈子 (神戸学院大学)

閉会挨拶 大前 哲彦 (大阪音楽大学)

会 場 大阪市立総合生涯学習センター 第1研修室

会場住所 〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-500 大阪駅前第二ビル5階

連絡先 京都大学教育学研究科教育実践コラボレーションセンター

吉田 正純 E-mail myoshida@educ.kyoto-u.ac.jp

交通案内: JR 大阪、阪急梅田、阪神梅田、大阪市営地下鉄梅田・西梅田・東梅田から徒歩5分程度。JR 北新地すぐ



第11回 中国・四国地区社会教育研究集会 会場 香川大学北4号館 412講義室

日時 一日目 6月26日(土) 13:30~17:00 (受付13:00~)

シンポジウム 「芸術・文化活動と社会教育—学社連携を中心として—」

コーディネーター 渡邊 安男 (香川大学)

司会 吉富啓一郎 (県立広島女子大学名誉教授)

- 1、産廃の島と文化の島へ—豊島と直島の事例を通じて— 高橋 範久 (香川大学大学院)
- 2、人形劇を通じて学社連携を考察する

—香川県の「とらまる座」と島根県の「つくし座」の事例—

大野 彩佳 (出雲市在住、前・人形劇団かぎぐるま)

- 3、「教育に新聞を」の視点から学校と社会教育を考える—いどばたNIEの会の活動を通じて—

赤星由紀子 (倉敷市在住、いどばたNIEの会)

その後、15分間の休憩の後、総合討論を行う。

司会 吉富啓一郎

コメンテーター 崎浜 聡 (高松市田井幼稚園)

猪熊 美香 (三豊市立上高野小学校)

会場：香川大学北4号館 412講義室

会場住所：〒760-8522 高松市幸町1-1

交通案内：JR岡山駅からマリンライナーに乗りし、50分でJR高松駅に到着。

JR高松駅から

- 徒歩 25分
- タクシー 8分
- バス 15分
- JR高徳線に乗換え『昭和町』駅下車東へ徒歩 8分

日時 二日目 6月27日(日)

9:00~17:00

場所 豊島と直島 フェリーとバスに乗ってのエクスカージョン

※2日目のこのエクスカージョンは有料である。参加希望者は渡邊安男研究室までご連絡のこと。

※30名で申し込み締切。

内容 産業廃棄物の不法投棄の島であった豊島において、島民達がいかに協力して島を復興させたかを見聞する。

そして、豊島から直島に向かい、産業廃棄物を処理し、無害なものに還元する過程を見学する。さらに、直島の「地中美術館」や「家プロジェクト」などのArtを鑑賞する。また、香川大学学生達による「直島地域活性化プロジェクト」の取り組みの一つである「和café'ぐう」店経営を視察し、瀬戸内海を眺めながら心ゆくまで味わう。

連絡先：香川大学教育学部 渡邊安男研究室

TEL 087-832-1572 E-mail watanabe@ed.kagawa-u.ac.jp



九州・沖縄地区六月集会

会場 福岡県立大学

日時 7月3日(土) 13:00~

「高等教育論と大学の地域貢献」

7月4日(日) 9:30~12:00

「子ども・若者支援と社会教育」

会場：福岡県立大学

会場住所：〒825-8585 田川市大字伊田 4395

連絡先：福岡県立大学 森山 沾一

TEL&FAX 0947-42-1628

E-mail moriyama@fukuoka-pu.ac.jp

交通案内：

【JR利用】

・博多駅から筑豊本線「新飯塚駅」で後藤寺線に乗換、「田川後藤駅」で日田彦山線に乗換、「田川伊田駅」(約1時間半)下車徒歩約15分。

・小倉駅から日田彦山線(約1時間)「田川伊田駅」下車徒歩約15分。

【バス利用】

・博多駅天神バスセンターから約1時間20分「福岡県立大学」下車。

・小倉駅バスセンターから約1時間「東町バス停」下車徒歩15分。

